要　望　書

平成２５年４月５日

豊丘村長　下平　喜隆　様

本山生産森林組合
組合長　菅沼　和明

本山生産森林組合は、伴野区・福島区・壬生沢区の３区で所有・管理している生産森林組合で、飯田下伊那地区に22の生産森林組合がある中で、最大規模の総面積264ヘクタールの山林となっています。

今回、リニア中央新幹線が建設される状況の中で、ルートとして、本山生産森林組合の山の下をトンネルで通過することが見込まれております。

リニアの廃土については、公的事業者以外の場合は、借地契約など用地の手当てについては、JRと関係地権者の間で行い、地権者や地元自治会と協議・調整をして優先順位を決めて実施がなされると聞いておりますが、この本山生産森林組合の山には、深い谷が多く、廃土を捨てるには、斜坑を掘ってトンネルの土を出し、埋め立てすれば、すぐ近くであり、環境的にもほとんど問題にならない所で、最適な場所であります。

また、捨てる量も大規模な量が捨てられると想定がされます。
当組合としては、山林への道路建設ができ、将来に渡って山林の管理ができる状況になればと希望しているところであります。

土捨て場等、条件については、今後の話し合いとさせてもらいますが、まず最優先に手をあげさせていただきますので、行政側として積極的に働きかけていただきますよう要望します。